

開拓の村はこんなところ

北海道開拓の村(ほっかいどうかいたくのむら)は、北海道の各地(かくち)からいろいろな建物(たても)を集めた博物館(はくぶつかん)。明治時代から昭和時代の初めまでに建てられた家や学校、お店などがあるよ。



村の中は54.2ヘクタールもの面積があって、50棟をこえる数の建物をみることができるんだ。

野幌森林公園の中にあるから、まわりは自然でいっぱい。動物や植物、そして畑の作物にも注目してみよう。



はんでんを着た開拓の村ボランティアのみなさんが、建物や暮らしについて説明をしてくれるよ。

(4月末から10月中旬まで)

明治時代(1868~1912)

大正時代(1912~1926)

昭和時代(1926~1989)



建物の中には、生活で使われた道具が展示されていて、どのような道具を使っていらしていたかが見えてくるよ。今のくらしとくらべてみよう。



体験学習棟、子供の広場にある道具や遊具はつかうことができるよ。みんなも挑戦してみよう。

(ほかの道具にはさわらないでね)

北海道開拓の村では、いろんなものやいろんなことを見て、聞いて、感じて、お話ししてまなびましょう。お友達や家族やボランティアさんとお話すると、面白いものが見えてくるかもしれないよ。

